

デフスポーツと手話が広がる！

「デフ」とは英語で「耳がきこえない」という意味です。

「舞い上がれ！上州の地から全力疾走」

第58回全国ろうあ者体育大会



in 群馬



第58回 全国ろうあ者体育大会



2024年

9月12日(木)～15日(日)

観戦無料

開会式9月13日(金) 各競技14日(土)・15日(日)

前橋会場

- ・第56回卓球競技(ALSOK 総合スポーツセンター)
- ・第41回テニス競技(ALSOK ぐんま テニスコート)
- ・第68回野球競技(上毛新聞敷島球場、グレースイン前橋市民球場)
- ・第52回陸上競技(正田醤油スタジアム群馬)
- ・第42回サッカー競技
(アースケア敷島サッカー場、前橋総合運動公園群馬県電工陸上競技・サッカー場)
- ・第30回ソフトボール競技(登利平 桃の木川グラウンド)
- ・フットサル競技(ヤマト市民体育館)

高崎会場

- ・第54回バレーボール競技(浜川体育館)
- ・第30回バドミントン競技(群馬体育館)
- ・第23回バスケットボール競技(さわやか交流館)

太田会場

- ・第30回ボウリング競技(ドリームスタジアム太田)

問合せ

第58回全国ろうあ者体育大会 in 群馬実行委員会((一社)群馬県聴覚障害者連盟)

TEL:027-255-6404 / FAX:027-255-6870

大会ホームページ <https://roua2024.deaf-gunma.com/>

～特別企画～

デフリンピックイベント

日時 9月13日(金)～14日(土)
会場 群馬県庁1階県民ホール
内容 デフリンピック展示など



第58回全国ろうあ者体育大会
in 群馬
ようこそ！上毛三山の群馬へ

さあ！熱戦を応援しよう！

きこえないことで、スポーツをするときのハンデはあるの？



きこえないことで、バランス感覚の異常、得られる情報量の少なさなどから、練習や競技上できこえる人と比べて不利な面があることが研究で報告されています。

たとえば、団体スポーツではチームメイト同士で声をかけあい、次の動きをとったり、個人スポーツでは、風の音や打球音、競技用具の音で状況を判断したりしますね。

これらが、きこえない選手にとっては1つのハンデになるのです。



競技のここに注目！

競技には きこえなくても、「目」でわかる様々な工夫がされています。

「目」でわかる合図

たとえば、100メートル走のスタートの出発音。きこえない人の競技では、光がピカッと光る『フラッシュランプ』でスタートを知らせます。

審判が笛の合図とともに、旗や手をあげたりして選手に知らせる様子や、団体スポーツでのチームメイト同士のアイコンタクト、音声とは違うサインの出し方などにも注目です。

「手話言語」や「文字情報」による情報保障

選手と審判などのコミュニケーションを保障する「手話通訳」、文字で情報を伝える「要約筆記」などのスタッフも大会に関わります。



2025年デフリンピックが日本で開催

デフリンピックとは、デフ+オリンピック。デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。デフリンピックは国際的な「ろう者のためのオリンピック」です。第1回大会は、1924年にフランスのパリで開催。東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会であり、日本では初めての開催になります。

【左のマークは東京2025デフリンピックのエンブレムです】

「がんばって！」の手話で応援しよう！

「がんばって！」の手話で、選手を応援しよう！ひじをはって、グーの形にした両手を下に2回おろすと「がんばって！」の手話になります。

この手話で選手を応援してください。



肘を張り、胸前で向き合わせた両手拳を同時に力強く2回下ろす

イラスト（一財）全日本ろうあ連盟発行『使える！スポーツ手話ハンドブック』より



全日本ろうあ連盟出版物のご案内はコチラ！